

新たな平和時代の幕開け！

金正恩委員長と文在寅大統領が 「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」に署名

「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」(全文)

朝鮮民主主義人民共和国の金正恩國務委員長と大韓民国の文在寅大統領は、平和と繁栄、統一を願う全同胞の様な志向を込め、朝鮮半島で歴史的な転換が起きている意義深い時期である2018年4月27日に、板門店の「平和の家」で北南首脳会談を行った。

北南首脳は、朝鮮半島にこれ以上戦争はなく、新たな平和の時代が開かれたことを8千万のわが同胞と全世界に厳粛に宣明した。

北南首脳は、冷戦の産物である長年の分断と対決を一日も早く終わらせ、民族的和解と平和繁栄の新たな時代を果敢に切り開き、北南関係をより積極的に改善し発展させなければならないという確固たる意志を込め、歴史の地、板門店で次のように宣言した

1. 北と南は、北南関係の全面的で画期的な改善と発展を実現することで、断たれた民族の血脈をつなぎ、共同の繁栄と自主統一の未来を早めていくであろう。

北南関係を改善し発展させることは、全同胞の様な願いであり、これ以上先送りできない時代の差し迫った要求である。

(1)北と南は、わが民族の運命はわれわれ自ら決定するという民族自主の原則を確認し、既に採択された北南宣言や全ての合意などを徹底的に履行することで、関係改善と発展の転換的的局面を切り開いていくことにした。

(2)北と南は、高位級会談をはじめとする各分野の対話と協議を早期に開催し、首脳会談で合意した内容を実践するため、積極的な対策を立てていくことにした。

(3)北と南は、当局間協議を緊密に行い、民間交流と協力を十分に保障するため、双方の当局者が常駐する北南共同連絡事務所を開城地域に設置することにした。

(4)北と南は、民族の和解と団結の雰囲気を高めていくため、各界各層の多方面の協力と交流、往来や接触を活性化することにした。

対内的には、6・15をはじめ、北と南に共に意義がある日を契機に、当局と議会、政党、地方自治体、民間団体など、各界各層が参加する民族共同行事を積極的に推進し、和解と協力の雰囲気を高める。対外的には2018年アジア競技大会をはじめとする国際大会に合同で出場し、民族の知恵と才能、団結した姿を全世界に誇示することにした。

(5)北と南は、民族分断により生じた人道問題を早急に解決するために努力し、北南赤十字会談を開催して離散家族・親戚再会をはじめとする諸問題を協議、解決していくことにした。

差し当たって、来る8・15を契機に離散家族・親戚の再会を行うことにした。

(6)北と南は民族経済の均衡的な発展と、共同繁栄を成し遂げるため、10.4 宣言で合意した事業を積極的に推進していき、一次的に朝鮮東海・西海線鉄道と道路などを連結し、現代化し、活用するための実践的な対策を講じていくことにした。

2. 北と南は、朝鮮半島で先鋭化した軍事的緊張状態を緩和し、戦争の危険を実質的に解消するため共同で努力していくであろう。

朝鮮半島の軍事的緊張状態を緩和し戦争の危険を解消することは、民族の運命と関連する非常に重大な問題であり、わが同胞の平和で安定した生命を保障するための鍵となる問題である。

①北と南は、陸上と海上、空中をはじめとする全ての空間で、軍事的緊張と衝突の根源となる相手に対する一切の敵対行為を全面的に中止することにした。

差し当たって、5 月 1 日から軍事境界線一帯で拡声器放送やビラ散布をはじめとするすべての敵対行為を中止し、その手段を撤廃し、今後非武装地帯を実質的な平和地帯としていくことにした。

②北と南は、西海の「北方限界線」一帯を平和水域とし、偶発的な軍事衝突を防止し、安全な漁業活動を保障するための実質的な対策を立てていくことにした。

③北と南は、相互協力と交流、往来と接触が活性化することに伴うさまざまな軍事的保障対策を講じることにした。

北と南は、双方間に提起される軍事的問題を遅滞なく協議、解決するため、人民武力相(国防相)会談をはじめとする軍事当局者会談を頻繁に開催し、5 月中にまず将官級軍事会談を開くことにした。

3. 北と南は、朝鮮半島の恒久的で強固な平和体制の構築のため、積極的に協力していくであろう。

朝鮮半島で非正常な現在の停戦状態を終わらせ、確固たる平和体制を樹立することは、これ以上先送りできない歴史的課題である。

(1)北と南は、いかなる形態の武力も互いに使用しないという不可侵合意を再確認し、厳格に順守していくことにした。

(2)北と南は、軍事的緊張が解消され、互いの軍事的信頼が実質的に構築されるのに伴い、段階的に軍縮を実現していくことにした。

(3)北と南は、停戦協定締結 65 周年となる今年、終戦を宣言し、停戦協定を平和協定に転換し、恒久的で強固な平和体制を構築するため、北南米 3 者、または北南中米 4 者会談の開催を積極的に推進していくことにした。

(4)北と南は、完全な非核化を通して核のない朝鮮半島を実現するという共同の目標を確認した。

北と南は、北側が講じている主動的な措置が朝鮮半島非核化のために非常に意義があり重大な措置だという認識を共にし、今後それぞれ自らの責任と役割を果たすことにした。

北と南は、朝鮮半島非核化に向けた国際社会の支持と協力を得るため、積極的に努力することにした。

北南首脳は、定期的な会談と直通電話を通じ、民族の重大事を随時、真しに議論し、信頼を強固にし、北南関係の持続的な発展と朝鮮半島の平和と繁栄、統一に向けた良い流れをさらに拡大していくために共に努力することにした。

差し当たって、文在寅大統領は今秋、平壤を訪問することにした。

2018 年 4 月 27 日 板門店

朝鮮民主主義人民共和国
国務委員会 委員長 金正恩

大韓民国
大統領 文在寅